



# 三原台中だより

令和6年9月3日発行  
練馬区立三原台中学校  
校長 山崎 二郎



## 「2学期が始まりました」

校長 山崎 二郎

今年の夏は、東京都の熱中症予防を呼びかけるポスター「今年の夏は沸とう京」のとおり、連日のように猛暑、酷暑が報道され、うだるような暑さに気持ちが折れそうな日々であったのではないのでしょうか。それに加えて、ゲリラ雷雨や台風、地震など、自然の驚異を改めて感じるとともに、正しい知識をもって自然災害に対する備えを見直すきっかけになったかと思えます。

そのような中でも、パリオリンピックでの日本代表選手をはじめとする各国のアスリートの活躍に感動と元気をもらうことができました。8月29日よりパラリンピックが行われています。まだまだアスリートたちの活躍に目が離せません。

さて、44日間の長い夏休みが終わり、静まりかえていた学校に子供たちの元気な声に戻ってきました。久しぶりの子供たちとの再会はとても嬉しいものです。夏休み期間中に大きな事故やケガの報告もなく、無事に2学期のスタートを切ることができましたのも保護者や地域の皆様が温かく見守ってくださったお陰です。心より感謝申し上げます。

ところで、夏休み中、ご家庭での子供たちの生活はいかがだったでしょうか。生活のリズムを崩すことなく規則正しく生活をしていた人、計画通りに宿題や家の手伝いなどを行った人ばかりだと良いのですが、中にはSNSや動画視聴、ゲームなどに夢中で、注意をしてもなかなか止めずに苦慮したご家庭もあったかもしれません。子供ですから大人に注意されないといけない時もあり仕方ないことですが、子供がどのような気持ちで受け止めていたかが問題です。私も子供の頃、「もう少ししたらやろうと思ったのに、先に注意されるとやる気がなくなる」とよく思ったものです。



子供が注意されたときの受け止め方には、①「めんどくさい、うるさいな」と受け止めて嫌々させられる人、②「仕方ない、やろうかな」と受け止めてきちんとやる人、③「自分のためだ、頑張ろう」と受け止めて自分から進んでする人の3種類あるようです。これらの受け止め方では、それぞれ気持ちが違うわけですから、力の伸び方に差が出てくるのは当然です。一番伸びるのは言うまでもなく、自分から進んでする人です。このような人は見ても気持ちがよいし、とても素敵に見えます。

2学期も、授業や合唱コンクール、修学旅行、職場体験学習などの様々な行事、学年・学級での活動の中で、生徒たちが主体的に取り組む機会を増やし、前向きな気持ちで頑張る力を育てていきます。そして、少しでも多くの場面で生徒たちが生き生きと活躍できるよう教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

# Congratulation!!

※敬称を省略させていただきます

## ☆剣道部

- ・第62回練馬区中学校生徒総合体育大会  
【男子団体】優勝  
【女子団体】優勝 ※開進三中と合同チーム
- ・第3ブロック夏季剣道大会  
【男子団体】準優勝
- ・第63回東京都中学校総合体育大会  
【男子団体】第5位 ※第49回関東中学校剣道大会に出場  
【男子個人】第6位 3年生

## ☆バドミントン部

- ・第77回練馬区民スポーツ大会  
【女子二部ダブルス】第3位 ペア2年生

## ☆ソフトテニス部

- ・第77回練馬区民スポーツ大会  
【男子団体】第3位  
【女子個人】第5位 ペア2年生
- ・練馬区夏季研修大会  
【女子個人】第3位 ペア2年生  
第5位 ペア2年生

## ☆サッカー部

- ・東京都中学校サッカー育成大会 準優勝

## ☆陸上競技部

- ・第10回足立中学校陸上競技選手権大会  
【女子中学2年 100M】第8位〔13秒70〕

## ☆ワールド ヒップホップダンス チャンピオンシップ

準優勝 2年生

夏季休業中に生徒会役員と有志の生徒たちが、練馬区青少年育成石神井地区委員会主催の地域行事に参加し、ボランティア活動を行いました。暑い中での活動でしたが、一生懸命に活動している姿はとても立派で、育成委員会から感謝状をいただきました。

ボランティア活動に参加してくれた皆さん、ありがとうございました！